

授業科目名	看護学概論(2300201)		
時間割名	看護学概論(32201)		
時間割担当	若林たけ子		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	水・2		

授業の目標・概要

看護の本質となる看護、人間、健康、環境の4大概念を理解し、看護の機能と役割、対象を全人的に捉えるための基礎的な知識を養う。看護への関心を高め、看護学全体の学びへの動機づけを図る。また、保健医療分野における看護職者の役割を理解するために、看護の対象となる人々、看護活動を展開する場、看護学の主要概念・機能などを学ぶ。看護活動、看護サービス、看護における教育課程、看護の歴史の変遷などを理解し、ヘルスケアチームにおける看護の位置づけやチーム医療の在り方について理解する。さらに、看護者としてのリーダーシップ、カウンセリング、教育、意思決定などの臨床実践能力を構築するための理論や技術を理解し、病院における看護マネジメントの在り方を学ぶ。

学習の到達目標

看護学を初めて学ぶ学生の看護に対する興味や関心を高め、看護学全体の学びの動機づけとする。

授業方法・形式

講義

授業計画

第1回	看護学を学ぶ意義		(中馬)
第2回	看護の対象としての人間の理解(1)	人間と健康・環境との関係を理解する	(中馬)
第3回	看護の対象としての人間の理解(2)	個人を生活者として理解し、その家族や地域についても理解する	(中馬)
第4回	看護の対象としての人間の理解(3)	マズローのニード論を基に人間のニードについて知	(中馬)
第5回	看護の対象としての人間の理解(4)	病者としての心理や行動から人間を知る	(中馬)
第6回	歴史にみる看護の考え方	課題「看護の対象となる人間についての考え」	(岡本)
第7回	看護における法的側面		(中馬)
第8回	ヘルスケアと看護の専門性	ヘルスケアチームにおける看護の位置づけと専門性、チーム医療のあり方を理解する	(岡本)
第9回	看護の構造と機能	課題「看護の専門性についての考え」	(中馬)
第10回	看護援助の役割と活動の場		(中馬)
第11回	看護の目的と実践(看護過程)		(中馬)
第12回	看護における教育課程	課題「看護の役割と実践の関係についての考え」	(岡本)
第13回	看護の質の保証と看護管理		(蓮池)
第14回	看護管理のスキル		(蓮池)
第15回	専門職としての看護の将来展望・まとめ		(中馬)

成績評価の基準

定期試験70%、レポート30%

授業時間外の課題

シラバスを熟読し、主体的に学習して初めて理解可能となります。各看護学の基盤となる科目ですので、既習内容を整理し計画的にレポートを作成してください。

メッセージ

講義時間内にお伝えします。

教材・教科書

基礎看護学[1]看護学概論 医学書院
 F.ナイチンゲール著：『看護覚え書』現代社
 V.ヘンダーソン：『看護の基本となるもの』日本看護協会出版会

参考書

参考書については講義の中で適宜紹介します